

## 理系出身監督官インタビュー

平成 27 年度任官

### 現在の仕事内容

安全衛生の部署で、働く人が安心・安全に働く社会を目指して、多種多様な事業場や現場に立ち入り、安全衛生全般に係る指導・助言を行っています。



### 大学時代の専攻分野と業務への活用エピソード

私は工業高等専門学校で電気情報工学科を専攻していました。工事現場での絶縁措置や溶接光の有害性など、電気の危険性について、学生時代の経験を基に事業者や作業員に対して理由を交えて指導を行えることは業務に大きく役立っていると思います。

### 労働基準監督官の魅力について

自分が担当した事業場の安全・衛生対策が指導や助言を通して改善していき、事業場の担当者から「ありがとうございました」という言葉をいただけることです。特に、対策を講じることが難しい事案について、事業場の担当者らと知恵を絞りながら検討した対策が実を結んだ時にやりがいを感じます。

### 任官してから苦労したこと、それを克服した方法

機械等設置届の図面について、会社によって書き方が様々で最初のうちはイメージを掴めず苦労しましたが、素直に会社の担当者に細かく聞いて自分の頭の中に完成図を思い浮かべることを繰り返すことで、徐々に慣れていきました。

### 理系の学生に伝えたいメッセージ

安全衛生業務は、いかに事象の急所を捉え的確な指導を行うかが大事です。監督官が扱う安全衛生の分野は幅広いため、皆さんが学生時代に培ってきた経験を大いに発揮できる機会が多々あります。やる気のある方と共に仕事を行える日を楽しみにしています。

### ○仕事風景

#### <建設現場における監督指導>



#### <報告書の作成>

